

<b>北海道</b>	機関名	公益財団法人函館地域産業振興財団(北海道立工業技術センター)
	部署名	総務企画部産業支援課
	電話連絡先	0138-34-2600

事業名	デザイン支援事業・デザインセミナー「ブランディングのすすめ方」
-----	---------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

現代の市場において、商品パッケージやブランディングは、消費者の購買意欲を左右する重要な要素である。優れたデザインは、商品の魅力を引き立てるとともに、ブランドの認知度を高め、競争力を強化するための強力なツールとなる。また、デザインに係る知的財産権を適切に活用することで、企業は独自性を保持しつつ、法的保護を受けることが可能となる。これにより、販路の拡大や新規顧客の獲得が期待される。

こうした観点から、函館地域におけるデザイン業務従事者の意識醸成を図るため、専門家を講師として招き、講演を実施した。併せて、講演後には個別相談会を実施した。

①講演【令和7年3月6日(木)、参加人数:41名】

函館デザイン協議会会長、株式会社ガーデン代表取締役 グラフィックデザイナーの佐賀吉憲氏を講師に招き、デザイン・知財を活用した販路開拓・拡大やブランディングのすすめ方について、道南地域の事例を紹介しながら説明した。

②個別相談会【令和7年3月6日(木)、相談件数:4件(企業及び個人)】

講演後、希望者に対して個別の相談会を実施した。相談には佐賀氏と函館デザイン協議会副会長 掛端氏が対応した。自社の職員採用や販路拡大に係る広告のデザイン、商品の形状に関する相談等が寄せられた。



主催 公益財団法人函館地域産業振興財団  
 後援 函館市、北斗市、七飯町、函館デザイン協議会

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和3年度	513千円

北海道	機関名	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 工業試験場
	部署名	ヒューマンテクノロジー部 デザイングループ
	電話連絡先	011-747-2377

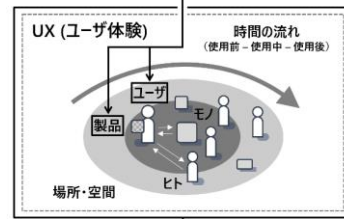
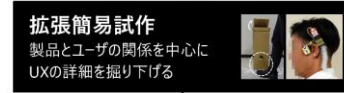
事業名	デザイン関連研究開発
-----	------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

道内企業が新製品開発やデザイン活用をより効果的・効率的に進められるように、デザイン方法論やこれを支援するツールの開発、これらを活用した実践的なケーススタディ研究に取り組んでいます。



<主な研究テーマ>

- 人間中心設計のための UX プロトotypingに関する研究 (R5~R6)**  
製品開発プロセスにおいて開発者間での共通理解や合意形成には、UX(ユーザー体験)の理解が重要である。本研究では、「拡張簡易試作」と「コースシーン試作」の2種の試作技術を開発し、ケーススタディで有用性を確認するとともに、具体的な活用法やツールを「試作活用ガイド(<https://designproto.design.blog/ux-PROTO/>)」で公開した。
- 食品パッケージデザインへの生成 AI および XR 技術の適用に関する研究 (R6~R7)**  
パッケージデザインの高品質化と効率化を目的に、生成 AI によるデザイン案生成および XR デバイスを用いた 3DCG 評価手法を構築。試験運用を通じて各手法の利点と課題を整理し、得られた知見や開発したツールは note にて公開予定。
- 生体情報計測によるリアルタイム感情推定手法の開発 (R7~R8)**  
製品開発や医療福祉等の多分野において、人の感情をリアルタイムかつ定量的に評価する手法が求められている。本研究では、生体情報からリアルタイムに感情を推定する手法を開発する。



UX プロトotyping技術研究

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	-	-

北海道	機関名	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 工業試験場	
	部署名	ヒューマンテクノロジー部 デザイングループ	
	電話連絡先	011-747-2377	
事業名	デザイン開発力向上講座「つくりながら考えるデザイン」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>道内ものづくり企業を対象に、自社製品開発にデザインの考え方や手法を取り入れるための実践講座を開催しています。製品開発講座は平成 29 年度から行っており、簡易試作を積極的に取り入れた本プログラムは令和 3 年から開始しています。</p> <p>【令和 6 年度 デザイン開発力向上講座】          期間:2024 年 9 月 20 日～11 月 15 日 集合開催 3 回 個別フォローアップ各社 2 回          講師:高橋尚基デザイン事務所 代表 高橋 尚基 氏          参加者:道内企業 4 社 7 名 参加費:無料</p> <p>【講座プログラム】          事前打ち合わせ・企業訪問:開発テーマの確認・検討          第 1 回集合研修:オリエンテーション・簡易試作をしてみよう          個別フォローアップ①:アイデア深掘り・方向性の検討          第 2 回集合研修:アイデアのユースシーンを可視化してみよう          個別フォローアップ②:アイデアまとめ・製品コンセプトの整理          第 3 回集合研修:わかりやすい製品企画資料をつくってみよう          ※講座終了後も製品化に向けたフォローアップが可能です。</p>			
			
			
令和 7 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和 3 年度	-

<b>北海道</b>	機関名	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 工業試験場
	部署名	ヒューマンテクノロジー部 デザイングループ
	電話連絡先	011-747-2377

<b>事業名</b>	<b>デザイン技術支援・設備開放</b>
------------	----------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

**1. 技術相談・技術指導(無料)**

中小企業が取り組む新製品開発やデザイン試作、またデザイン業とのマッチングなど、様々なデザイン関連の相談に対して支援を行っています。

【R6 年度実績】技術相談 161 件、技術指導 11 件

**2. 派遣指導・短期実用化研究開発(有料)**

製品開発やブランディングなどのデザインに関する課題の解決に、企業と協働して集中的に取り組めます。

【R6 年度支援テーマ】

- ・CT 検査用腕置台の実用化開発(北海道ポラコン株式会社)(図 1)  
他 1 件

**3. 人材育成(無料)**

デザイン開発プロセスで活用できる各種デジタルツールや機器をテーマに、実践的な研修・セミナーを開催しています。

【R6 年度開催テーマ】

- ・Blender Meetup Sapporo 2024
- ・XR と空間コンピューティングの産業利用セミナー(図 2)
- ・3D デジタルツールを活用した小ロット樹脂部品生産
- ・5 軸加工とデジタル技術研修

**4. 設備開放・依頼試験(有料)**

各種デザイン試作設備を企業に開放しています。また、製品開発に伴う試験の依頼にも対応しています。

【開放しているデザイン試作設備・試験設備】

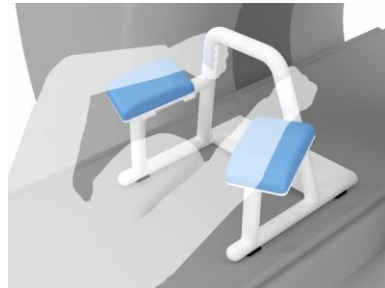


図 1 デザイン支援(CT 検査腕置台)



図 2 XR セミナー



光造形システム



3D スキャナ



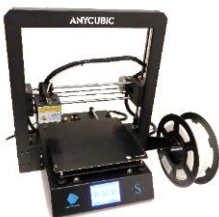
5 軸 NC 加工機



レーザー加工機



UV プリンター



3D プリンター



真空成型機



真空注型機



恒温恒湿器

令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	-	-

北海道	機関名	旭川市
	部署名	旭川市工芸センター
	電話連絡先	0166-66-1770

事業名	国際家具デザインフェア旭川 (IFDA) 2024 の開催支援
-----	---------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

新しい生活文化の提案と発信を目的として、平成2年から3年ごとに開催している国際家具デザインフェア旭川 (IFDA) は、今回で 12 回目の開催となる。国際的な木製家具のデザインコンペティションとして定着し、世界中のデザイナーと家具産地旭川にとって、より親密な国際交流を図る場となっている。

メイン事業であるデザインコンペティションは、38 か国・地域から 655 点の応募があり、最高賞であるゴールドリーフ賞をはじめとする入賞作品5点が選定された。

選定に当たっては、今回新たな試みとして、本審査の前に入賞候補 15 作品の応募者自らが審査委員の前で作品に込めた思いやコンセプトなどをプレゼンテーションする場が設けられ、さらに審査結果が表彰式で発表されるなど、全ての賞が発表される瞬間まで楽しむことができる、よりエンターテインメント性が高い内容で行われた。

また、上記の 15 作品は、「IFDA2024 入賞入選作品展」として、6月 19 日から9月 29 日まで旭川デザインセンター内で展示された。



デザインコンペティション表彰式の様子



ゴールドリーフ賞 受賞作品  
(旭川デザインセンターにて展示)

<参考 URL >  
<https://ifda.jp>

令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
事業予定なし。次回(2027)開催に向け、令和8年度から準備。	平成2年度	5,500 千円(R6)

<b>北海道</b>	機関名	経済産業省北海道経済産業局
	部署名	地域経済部 産業技術革新課 知的財産室
	電話連絡先	011-709-2311(内線 2586)

事業名	地域におけるデザイン活用促進事業
-----	------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

<事業内容>

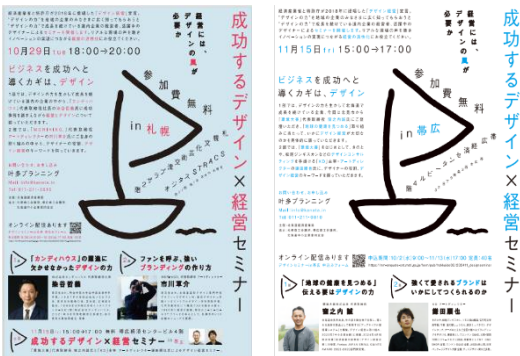
道内に幅広く、経営におけるデザインの活用や知的財産権で保護することの重要性を普及するため、「札幌市」と「帯広市」の2地域でデザインセミナーを開催。デザインを活用して企業価値を向上させている企業の事例を紹介した。

① 札幌

【日時】2024年10月29日(火)18:00~20:00  
 【場所】札幌文化芸術交流プラザ2階 SCARTS スタジオ  
 【講師】株式会社カンディハウス 代表取締役社長 染谷 哲義 氏  
 MORIHICO.代表取締役 アートディレクター 市川 草介 氏  
 【参加人数】会場:82名 オンライン:46名

② 帯広

【日時】2024年11月15日(金)15:00~17:00  
 【場所】帯広経済センタービル4階  
 【講師】環境大善株式会社 代表取締役 窪之内 誠 氏  
 KD アートディレクター 鎌田 順也 氏  
 【参加人数】会場:41名 オンライン:52名



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和5年度	1,000千円